

平成30年度 海津市立石津小学校
学校経営の全体構想

児童の実態

- ・発達段階に応じ、学習、掃除など落ち着いて学校生活をおくる児童が多い。
- ・自分の考えを自分の言葉で発言できる児童が増えてきている。
- ・算数、国語では「授業はよくわかる」と答える児童が多いがそれに比べ「好きである」と答える児童が少ない。
- ・地域の活動によく参加しているが「地域の活動に興味がある」と答える児童は少ない。

海津市のめざす教育

「いのち」をつなぐ教育

- ・人や地域のつながりを生かし、開かれた活力ある学校経営
- ・課題を明確にし、確かな指導力を身に付ける研修の強化

学校の教育目標

思いやりの心もち
進んでやりぬく子

- ・ねらいを明確にした指導による「生きる力」の育成
- ・心のふれあいを大切にした温かい人間関係づくり

自己実現の欲求

めざす学校像と視点①

自己有用感に満ちた学校

- 全ての教育活動が「児童を認める場」という意識に基づいた活動の工夫、指導方法の確立
- 学力の向上に向けた指導法の改善
- 望ましい学級集団育成
- 児童の実態把握
- 勤務時間の適正化、多忙感解消

承認の欲求

社会欲求と愛の欲求

安全の欲求

生理的な欲求

めざす学校像と視点③

「TEAM石津」の一組織としての学校

- 地域社会人の育成をめざす教育の実践
- 「TEAM石津」(地域、家庭、関連機関等、学校)内での目的の共有、連携
- 信頼される学校づくり
- 関係者の評価を活かす学校運営

めざす学校像と視点②

安心・安全な学校

- 防災、防犯、危機管理意識の高揚
- いじめ、問題行動への迅速な対応、的確な指導
- 感染症、アレルギー等への迅速、確実な対応
- 教育相談活動の充実
- 職員の人権感覚、コンプライアンス意識の向上

前提となる職員態勢

- ◇誰もがどんな場でも意見を発言できる職場の中で、職員一人一人がTEAM石津の一員としての自覚をもち進んで経営に参画する。
- ◇教職の専門性を高める研修を効率的に実施し、互いの実践から学び合い、職員一人一人の資質・能力の向上を図る。
- ◇職員のチームによる指導が原則であり、特に問題を一人で抱え込むことは罪悪とする。
- ◇自身、家族の心身の健康を、また職員一人一人が互いの心身の健康を気遣い、安心して教育に専念できる環境を整える。

期待される児童像①
あたま

- ・目標をもち、意欲的に学習に臨むようになる。
- ・自分の考えをもち、いつでも、どこでも、だれにでも、それを伝えられるようになる。
- ・学び方が身に付き、学力が向上する。

期待される児童像②
こころ

- ・自他のよさに気付き、よりよい人間関係を形成する力が身に付く。
- ・感謝の気持ちをもって生活できるようになる。
- ・発達に応じ節度ある生活ができるようになる。

期待される児童像③
からだ

- ・安全で健康な生活を意識して自らの行動を判断、選択できるようになる。
- ・生活環境をみつめ、安全、安心な生活のために行われている取り組みに気付くようになる。